MAEDAの「CSRの4本柱」

企業市民としての社会・地域貢献活動

重点事項 社会・地域とのコミュニケーション、社員の環境意識向上

当社は企業市民として、社会や地域の課題解決に向けてさまざまな活動を行っています。ここでは、地域の皆さまとの大切なコミュニケーションでもある社会・地域貢献活動の取り組みや、社員個人の環境意識向上を目的とするエコポイント制度「Me-pon（ミーポン）」の活用、そしてMAEDAグループ各社における社会・地域貢献活動の取り組みについてご紹介します。

1 社会・地域とのコミュニケーション

当社は企業市民として、社会的課題の解決に向けたさまざまな活動を行っており、社会・地域貢献活動は、地域の皆さまとの大切なコミュニケーションの一つだと考えています。

各地で展開する社会・地域貢献活動

建設業には、「各地に事務所をかまえ、地域に密着して仕事をする」という特徴があります。当社社員は、その土地の「地域住民の一人である」という意識を持ち、各地で自主・自発的に社会貢献活動を行っています。各支店・現場で実施した活動を共通のデータベースに登録し、全社で情報を共有しています。なかでも、顕著な活動は「社会・地域貢献活動奨励賞」として表彰し、さらなる活動の活性化や、社員の意識向上をめざし、着実に取り組んでいきます。

子どもたちに安心・安全な通学を。スクールバス停留所に待合室を設置【東北支店：小友作業所】

岩手県陸前高田市の小中学生は、震災後、スクールバスを利用して登校しています。小友作業所付近のバス停は、交通量の多い市道に面しており、事故の危険性がありました。また、雨や風が強い日が多く、時期によっては朝の気温がマイナスになることもありますが、生徒たちは付近に建物がないためずっと外で待たなければいけませんでした。そのような状況から、当作業所ではバス停に待合室を設置することにしました。バスを待つ間、天候が悪くても少しの間しのぐことができ、また事故の防止にも繋がりました。小中学生だけではなく、学校からも喜ばれています。

待合室を利用する小中学生たち

シルバー人材センターの方々とともに、地域の緑化・美化活動を実施【中部支店：安永川開水路作業所】

この作業所では、2011年の着工から約4年間、地域との良好な関係構築のためにさまざまな活動に取り組んでいます。

現場周辺の緑化・美化活動には特に力をいれており、活動は地域雇用にも繋がる取り組みとして、シルバー人材センターの方々と一緒に行っています。市の美化週間に合わせ、近隣の方々では手が回らない場所を中心に清掃活動を行い、地域との繋がりも大切にしています。また、現場のある今町地区は緑が多いことから、工事中も緑化に協力したいと考え、現場周辺に花のプランターを設置しました。これからも、引き続き活動を継続していく予定です。

シルバー人材センターの方々との美化活動

落ち葉を利用し、小学校で腐葉土づくり【東京土木支店：江東シールド作業所】

この作業所では、小学校の敷地の一部を借用し工事を進めています。敷地内にはさまざまな樹種が植えられ、生徒の自然観察の教材となっていますが、敷地内の大量の落ち葉の処理に困っていました。

そこで当作業所では、腐葉土作成用の箱を設置し、落ち葉で腐葉土を作成することにしました。これにより、小学校や現場周辺の清掃時に集めた落ち葉をゴミとして処分することなく、植物の肥料として再利用することができました。また、小学生が腐葉土について学ぶきっかけとなり、微生物のはたらき・腐葉土に住む昆虫を観察・体験できる教材として、有効に活用することができました。

腐葉土づくりを体験する子どもたち

作業所内で育てたじゃがいもで、近隣園児と一緒に芋ほり体験【関東支店：東葛病院作業所】

この作業所では、作業所内に花壇をつくり、通行する住民の方々からも楽しんでいただけるように花壇前の仮囲いを透明パネルにしました。

自慢の花壇では、アサガオやハイビスカス、コスモスのほか、トマト、ナス、キャベツに白菜など、四季を通して30種類以上のさまざまな植物を栽培しています。じゃがいもの収穫時期には、近隣の園児12人を招いて芋ほりをしました。園児が自分が採ったじゃがいもを得意げに見せてくれたり、作業所内にある大きなクレーンを間近で見て喜んだりする様子から、社員にとっても思い出深い行事となりました。このように、花壇を通して地域と友好な関係を築いています。

作業所内花壇での収穫祭

本支店での社会貢献活動

●本店の活動

2014年7月、新社屋への引っ越しに伴い、各部署・個人が廃棄する予定の古本を募り、古本の売却金額が森づくりの支援金として使われる「古本で森づくり」活動への寄付を行いました。結果、1,989冊集まり、46,895円の支援金を寄付することができました。

●東京土木支店の活動

東京土木支店では、賞味期限が近づいた防災備蓄品900食分をセカンドハーベスト・ジャパン（NPO法人）に寄贈しました。寄贈した非常食は、NPO団体を通じて福祉団体等に無償で提供されます。

900食分の非常食を運ぶ東京土木支店の社員たち

スリランカでの支援が実を結び、コーヒーが商品化されました

2008年、当社はスリランカでの水力発電所の建設工事をきっかけに、貧困地域の自立支援と環境保全を目的として、NPO法人日本フェアトレード委員会と協働し、コーヒー栽培を通じた支援を始めました。現在では、現地の女性を中心とした活動に移行しており、村の貴重な財源となっています。

2014年、植樹した木がはじめて実をつけました。この初収穫を記念し、ドリップパックを制作しました。完成した商品の一部を当社のイベントなどでプレゼントしました。

コーヒー豆を手に笑顔を見せる村の人たち

東北支援のための企業ボランティア活動

当社は東日本大震災直後から、震災復興を目的に、事業活動を通した支援や義援金の拠出に加え、社員が参加できる企業ボランティア制度を改定し、2011年6月から継続して活動しています。2014年度は9回の活動を実施し、参加者は延べ116人でした（2011年度からの累計実施回数38回、累計参加者数約650人）。

2014年度震災ボランティアー覧

回数	活動月	活動内容	参加人数
第1回	6月	OISCA名取海岸林再生プロジェクト参加	5名
第2回	6月	大槌町を花いっぱいに	21名
第3回	7月	陸前高田市うごく七夕まつり（山車制作）	17名
第4回	8月	陸前高田市うごく七夕まつり（飾り制作）	17名
第5回	8月	陸前高田市うごく七夕まつり（当日参加）	18名
第6回	8月	OISCA名取海岸林再生プロジェクト参加	8名
第7回	9月	大槌祭り参加	12名
第8回	10月	OISCA名取海岸林再生プロジェクト参加	8名
第9回	3月	NPO法人桜ライン311の植樹祭参加	10名

活動報告

6月の大槌町を花いっぱいに活動は、地域一帯の盛土が進み、昔の街並みが消えていく大槌町で、地元の方々を少しでも元気づけようと、現地作業所の社員が発案した活動です。全国から集まった社員とともに蝶や鳥を呼ぶ園芸種を植えた花のプランター100台を道路脇に設置しました。

ステークホルダーダイアログ2014の開催

2014年12月、企業のCSR担当者や有識者6人にお集まりいただき、当社のCSR活動についてご意見をいただく「ステークホルダーダイアログ2014」を開催しました。

今回のテーマは「組織のさらなる発展」「コミュニケーションやモチベーションの重要性」「前田建設の“人柄”」など、まもなく創業100周年を迎える当社が、さらなる発展・継続を実現するために何を考え、何をする必要があるのか、当社の次のステップに向けての意見・アドバイスと、3年間を総括する内容についてお話をいただきました。

ステークホルダーダイアログの様子

2 MAEDAエコポイント制度「Me-pon」の活用

MAEDAエコポイント制度「Me-pon（ミーポン）」は、社員と家族の環境活動＝エコアクションを応援するしくみです。「家族と」「仲間と」「楽しく」をキーワードに、エコアクションが社員の生活に定着することをめざしています。

Me-ponの目的

当社独自のエコポイント制度Me-ponは、社員だけでなく家族も巻き込み、個人レベルでの環境活動を応援することを目的に、2010年から運用を開始しました。社員や家族がさまざまなエコアクション（環境活動）を行うことでポイントが貯まり、そのポイントはさまざまな対象と交換することができます。

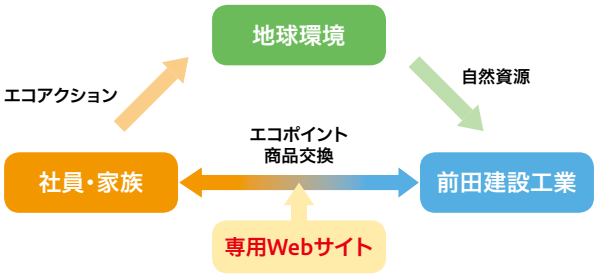
Me-pon事務局では、年間の社員の付与ポイント数（社員が活動することによるポイント）と交換ポイント数を社員の環境活動の参加に対する指標としており、ポイント交換が増えるほど、社員と家族のエコアクションの輪が回っていると考えています。

Me-ponのしくみと運用

ポイントが貯まるエコアクションには、社員が地域の美化活動や環境イベント・セミナーなどへの参加や、毎月の電力・水道などの使用量を入力・管理する「環境家計簿」、通勤時の2km以上を徒歩・自転車にする「エコ通勤」のほか、エコな知恵の投稿、環境に関連する資格の取得など、さまざまな活動があります。

貯まったポイントは、自転車などのエコ商品や東北復興支援やフェアトレードの食品、救済支援団体への寄付、休暇などに交換することができます。

エコアクションの登録・申請、ポイントの確認、商品への交換は専用のWebサイトで行うことができ、家庭からでもアクセスすることができます。また、社員が注文した商品の梱包・発送業務を社会福祉法人に委託しています。



	2014年3月末	2015年3月末
累計取得ポイント（P）	2,883,497	3,499,882
累計交換ポイント（P）	1,195,925	1,690,915
社員参加人数（人）	2,664	2,751
家族参加人数（人）	727	908

Me-ponとMAEDAグリーンコミットの協働イベント

MAEDAグリーンコミット**（P. 42）**の「MAEDAの森」や「MAEDAエコスクール」の活動には、参加することでMe-ponのポイント付与対象となる活動があり、これまで多くの社員や家族が参加しています。各活動の運営はNPO法人や森林組合などの協力を得て、当社の社員や家族だけでなく、OBやグループ会社の社員、地域の皆さまにもご参加いただいています。

MAEDAの森で植樹祭

当社は、全国に3カ所ある「MAEDAの森」の保全活動を通じ、現地NPO法人、社員や家族とともに森づくりの輪を広げています。

2014年10月、MAEDAの森福井にて4年目となる植樹祭を開催しました。福井営業所の社員や家族、協働している地元のNPO法人ドラゴンリバー交流会の会員ら約60名で、コナラの苗木100本を植樹しました。Me-ponでは毎年「どんぐり家族の森づくり」と題して、福井で拾ったどんぐりを全国の社員に育ててもらうエコアクションを実施しています。大きくなった苗は、再びMAEDAの森福井に植樹しています。

家族で植樹祭に参加する当社社員

環境学習会 in 多摩動物公園

社員と家族、また地域の皆さまを対象とした環境学習会を、春と秋の2回、多摩動物公園で開催しています。NPO法人樹木・環境ネットワーク協会にご協力いただき、普段は立ち入ることのできない園内の保護林を開放し、さまざまな植物・いきものを発見する散策ツアーや、間伐材を使ったクラフト作り、青空の下での絵本の読み聞かせや音楽会などを行いました。日野市環境フェアに合わせて開催した秋の学習会では、一般の方も対象とし、参加者には社会福祉法人に制作を依頼したオリジナルのどんぐりストラップや、MAEDA環境学習絵本をプレゼントしました。

間伐材を使ったクラフトづくり体験

3 MAEDAグループのCSR・環境活動

MAEDAグループでは、建造物に関わるさまざまな事業を展開しています。ここでは、MAEDAグループが事業を通して、地域とのコミュニケーションを大切にしながら取り組んでいるCSR・環境活動を紹介します。

MAEDAグループについて

MAEDAグループは、それぞれの事業や社会貢献活動を通じて、CSR・環境活動に取り組んでいます。右表に示す通り、グループ会社の業務内容はさまざまであることから、それぞれ事業形態にあった社会貢献活動を行いました。

たとえば、ホテルや保険といった法人だけではなく個人のお客さまも対象としている会社や、工場を構えて事業を行っている会社では、近隣住民の方々との交流に主眼を置いた活動を重視しています。一方、海外のグループ会社においては、現地の社会的課題の解決に寄与する活動へ参加しています。さらに、それぞれの事業形態にあった社会貢献活動を行うだけではなく、前田建設や他のグループ会社との連携を高めるため、各社にCSR・コンプライアンス委員**(P. 34)**を配置し推進しています。

今後も、MAEDAグループ各社と前田建設が連携して取り組むことにより、社会的信頼のさらなる向上をめざします。

国内グループ会社名	主な事業内容
(株)ジェイシティー	ビルの維持管理、ホテルの運営管理
フジミ工研(株)	コンクリート二次製品の製造・販売
(株)JM	店舗・個人住宅などの修繕・施設管理マネジメント
(株)ミヤマ工業	建造物の基礎工事全般
(株)エフビーエス	建築物の維持管理・改修
光が丘興産(株)	建材・食品商社・保険代理・不動産
(株)ウィーゴカントリー倶楽部	ゴルフ場の運営・管理
正友地所(株)	コンサルティング・仲介などの不動産全般

海外グループ会社名	主な事業内容
タイマエダ	主にタイにおける建設事業
マエダベトナム	主にベトナムにおける建設事業
マエダインディア	主にインドにおける建設事業

【(株)ウィーゴカントリー倶楽部】地元の環境団体との取り組み

(株)ウィーゴカントリー倶楽部では、地域の方々とのコミュニケーションの活性化と環境保護の取り組み状況の伝達を目的に、「田野口地区環境保護協議会」と「猪ノ平環境管理委員会」と連携した会議を開催し、地域との交流を図っています。また、交通安全街頭指導や道路美化活動といった社会貢献活動にも取り組んでいます。

事業における環境保全活動としては、クラブハウスにおける太陽熱や太陽光発電の導入、デマンドコントロールによる最大需要電力の管理など、積極的に取り組んできました。今後も地元の方々とのコミュニケーションを大切にしながら活動していきます。

猪ノ平環境管理委員会とのゴルフ場内流域環境視察

【フジミ工研(株)】事業の特徴を活かした社会貢献活動

フジミ工研(株)では、自社の事業で取り扱いのある「コンクリート」を利用した椅子や花器といったオブジェ等を制作しました。作品を地域の生花店等に展示することにより、コンクリートの持つ可能性をPRすることができました。また、地元の中学生を対象とした工場見学会も2013年度に引き続き開催しています。コンクリート製品を製造する過程を見学するだけではなく、実際に手を動かしてものづくりを体験してもらうことにより、楽しさや魅力を感じてもらいたいと考えています。さらに20年以上にわたり滑川工場内で年2回の献血を行ってきており、今ではすっかり定着し年中行事の一つとなっています。この活動は、今年度、前田建設の社会地域活動奨励賞にて賞されました。

今後も、自社の特徴を活かした社会貢献活動を通じて、地域の方々の理解を得ながら事業を継続していきます。

【(株)ジェイシティー】屋台村・アトリウムコンサートの開催

ホテルの運営管理も行う(株)ジェイシティーでは、近隣住民の方々との交流を目的に、「屋台村」や自社施設を利用した「アトリウムコンサート」を開催しました。屋台村での売上金の一部を練馬区社会福祉協議会へ寄付しています。

事業においては、ノロウイルスによる食中毒発生を経営上のリスクと捉え、その対応を重点的に実施しました。食品衛生に関する社内ルールの再確認を行ったほか、食品衛生講習会・安全衛生委員会を通じた社内教育を実施しています。

事業活動におけるリスクを回避するとともに、地域貢献活動を通してステークホルダーから信頼される活動を実施しています。

「屋台村」の開催状況

【光が丘興産(株)】光が丘J.CITYアート展へのボランティア参加

光が丘興産(株)では、前田建設・ジェイシティーなどとともに「光が丘J.CITYアート展」へ協賛し、ボランティアとして協力しました。このアート展は『アートがみんなを元気にする』をテーマに子どもたちの感性と創造性を養うことを目的に、地域社会が主体となって取り組んでいる活動です。近隣の小学校をはじめ、中・高校生や、障がいのある方の作品も含めた絵画などを展示しました。この活動は今回で10回目の開催となり、近隣の方々からも好評を得ています。

当社ではこのほかに近隣での清掃活動や関連施設での職業体験なども実施しており、これからも社会貢献活動に継続的に取り組んでいきます。

「光が丘 J.CITYアート展」の様子

【タイマエダ】タイにおける森林の防火帯づくり

タイマエダは、前田建設とともに公益財団法人オイスカが主催する「子供の森」計画に参加しました。資金拠出だけではなく、連携して取り組むことによる支援を重視しており、2014年度はタイ北部に位置するチェンライでの活動に参加しました。参加者は日本人とタイ人を合わせて総勢18名となりました。

タイでは、乱開発や焼き畑の延焼などによって森林面積が大きく減少してしまっており、大きな社会課題となっています。そこで「子供の森」計画は植林活動を支援しながら子どもたちへさまざまな環境教育を行っています。今回の活動内容は、山火事を抑制するための防火帯づくりです。近隣の村人に加え、たくさんの小学生たちとともに作業に従事しました。

現地の社会課題の解決に直接寄与することのできる活動へ参加したことにより、モチベーション高く取り組むことができました。これからも、企業単体ではなく、NPO法人や現地の方々などのステークホルダーと一緒に、それぞれの得意分野を活かした活動に取り組んでいきます。

タイの小学生とともに防火帯づくりへ参加